

## KEEP ON PC Ver.3.0

開発元：株式会社ZATEC <http://www.zeatec.jp/>

## はじめに

## ■ご利用に関して

このたびは、本製品をご購入いただきありがとうございます。本製品のご利用にあたり、この取扱説明書を最後までよくお読みください。お客様の取り扱いによっては重大な損害が発生する恐れがあります。当社では内容、直接的、間接的に関らず一切の責任は負えませんのでご了承ください。

## ■製品内容

本製品に含まれるものは以下のとおりです。開封後すぐにご確認ください。製品には十分確認を行っておりますが、万が一欠品等がありましたら、すぐにご連絡ください。

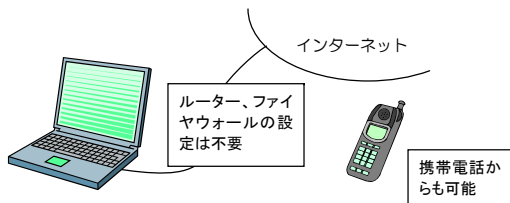
- ・ソフトウェア CD-ROM
- ・ソフトウェアライセンス
- ・取扱説明書（本書）

## 製品仕様

## ■利用目的

本製品はパソコン本体の監視および制御を目的としています。インターネットに接続されているパソコンで、ホームページを見ることができればどんなネット環境でも遠隔操作が可能です。また、ファイヤーウォールやルーターなどの設定変更も必要ありません。このソフトウェアの主な機能は以下の通りです。

- ・画面のキャプチャファイル出力
- ・マウス周辺のキャプチャファイル出力
- ・実行プロセスの一覧を出力
- ・FTPサーバへの出力
- ・マウス、キーボード等の遠隔操作
- ・インターネット環境が間接的でも遠隔操作が可能



## ライセンスについて

このソフトウェアはシェアウェアです。正規の料金をお支払いいただき、ライセンスキーを取得してください。ご購入に関しては開発元へお問い合わせください。ご利用される前に取得されたライセンスキーとユーザーID をソフトウェアに登録してください。登録は全て半角英数です。詳細は別項の「ライセンス情報」を参照してください。ライセンスの管理・保管は厳重に行い、紛失されても再発行はできませんのであらかじめご了承ください。ライセンスはパソコン1台につき1つ必要です。複数から使用する際には必要台数のライセンスをご購入ください。尚、試用するにはライセンスキーは必要ありません。定期的にメッセージが表示されますが、「OK」ボタンを押すことによって全ての機能を試すことができます。

## 動作環境

OS：Windows95、98、Me、NT、2000、XP  
CPU：各 OS に依存する  
メモリー：各 OS に依存し、問題なく動作する容量  
ディスク容量：10MB 以下（各 OS が問題なく動作する空き容量が必要です）  
その他インターフェース：なし

## セットアップ方法

このソフトウェアは Visualbasic6.0 によって開発されています。基本的なランタイムがセットアップされていれば「実行ファイル」フォルダだけ適当な場所にコピーすれば使用可能です。よくわからない場合やエラーが出た場合は先にランタイムをセットアップしてください。

## ■ランタイムのセットアップ方法

「ランタイムスペシャル」フォルダの「ランタイム」フォルダを開き、「runtimefile.exe」を実行します。あとはインストーラが出てきますので画面の指示に従ってインストールしてください。ランタイムを入れた後、「実行ファイル」フォルダをデスクトップなどの適当な場所にコピーして実行ファイルを起動します。

## ■アンインストール方法

コピーしたフォルダを丸ごと削除し、アプリケーションの追加と削除から「ランタイムスペシャル」を削除してください。

## 各機能説明

KEEP ON PC（以後 KP と略す）を起動する際には監視モード、設定モード、リモートモードの3種類があります。また、終了する際にも同様の方法を使います。あらかじめご確認ください。

## 監視モード

そのまま kp.exe を起動します。

## 設定モード

kp.exe と同じ場所に「s」ファイルを作成する

「s」ファイルは何でも結構ですが、拡張子はありません。起動したときに同じフォルダ内にそのファイルがあるかどうかを確認し、あれば設定画面を表示させます。

ショートカットを作成し、「kp.exe s」というようにオプションをつけて起動する

あらかじめショートカットアイコンを作成しておき、オプションで「s」をつけておくことによっていつでも設定画面が使えます。

設定内容については設定モード説明の項を参照してください。

## リモートモード

kp.exe と同じ場所に「r」ファイルを作成する

「r」ファイルは何でも結構ですが、拡張子はありません。起動したときに同じフォルダ内にそのファイルがあるかどうかを確認し、あれば遠隔操作画面を表示させます。

ショートカットを作成し、「kp.exe r」というようにオプションをつけて起動する

あらかじめショートカットアイコンを作成しておき、オプションで「r」をつけておくことによっていつでも設定画面が使えます。

設定内容については設定モード説明の項を参照してください。

## 終了方法

kp.exe と同じ場所に「e」ファイルを作成する

「e」ファイルも設定画面表示の時と同様テキストファイルでも何でも結構です。通常モードで起動しているときには常に「e」ファイルがあるかを監視し、あればすぐに kp は終了します。

## タスクマネージャを利用した強制終了

Windows2000、XP の場合はタスクマネージャを利用し、直接終了させることができます。

## - 設定モード詳細説明 -

## ■パソコン情報

それぞれの項目は表示しているのみで設定の変更はできません。

コンピュータ名・・・マイコンピュータで設定されているコンピュータ名を表示しています。

IP アドレス・・・ネットワークカードに割り当てられている IP アドレスを表示しています。ネットワークカードが複数存在する場合、先頭側を優先しています。

MAC アドレス・・・ネットワークカードの MAC アドレスを表示しています。ネットワークカードが複数存在する場合は先頭側を優先しています。



## ■記録内容設定

間隔・・・記録を残す時間と単位を設定します。FTP の通信を利用している場合など、ネットワークの影響によりずれる場合があります。目安と考えてください。1 秒などの短い時間にはなるべく設定しないでください。システムに大きな付加がでると共にネットワークのパケットが極端に増え、ほかのネットワーク機器に障害が発生するおそれがあります。

デスクトップキャプチャ・・・デスクトップの画面自体を JPG ファイルで保存します。保存品質・・・JPG ファイルは画像品質を落とす事によってファイルサイズを小さくできます。100 までとし、通常の写真画質を求めるなら 80 程度とし、何をやっているかわかる程度なら 5 で十分です。設定値によってファイルサイズがかなり変わるので保存するディスクのサイズを考えて設定してください。

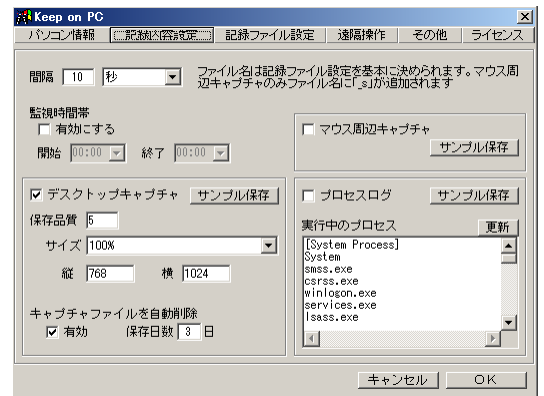
サイズ・・・保存する画面を記録する際に任意のサイズに変換します。サンプル保存・・・設定した内容でファイルサイズや保存先を確認することができます。保存先は記録ファイル設定を参照してください。

キャプチャファイルを自動削除・・・問題が発生したときだけ記録ファイルを確認する使い方なら通常時はディスク容量を考慮して一定以上古いファイルは自動的に削除することができます。削除対象のファイルかどうかは記録ファイル設定に関係しますので、設定変更後は保存日数後再確認してください。

監視時間帯・・・業務時間中のみ監視する場合などに使用します。指定した時間帯以外は一切の記録遠隔操作もできなくなります。

マウス周辺キャプチャ・・・マウスの周辺だけを JPG ファイルで保存します。保存ファイル名は記録ファイル設定に「s」が追加され、サイズ、保存品質共に固定で細かい設定はありません。

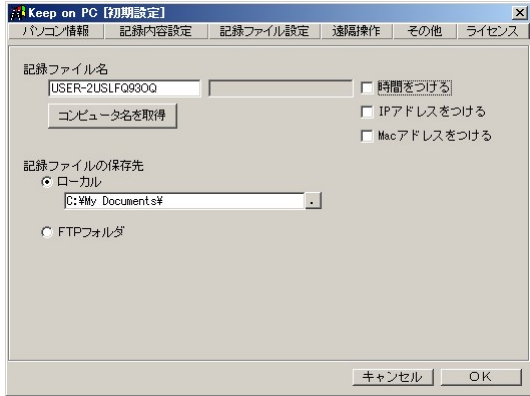
プロセスログ・・・実行しているプログラムの一覧です。ユーザーが起動しているソフトウェア以外にタスクバーに常駐しているものや Windows が自動的に起動しているソフトウェアなど EXE ファイル名を表示します。ログ形式で記録されるため、ソフトウェアの使用頻度などの解析にも使えます。



## ■記録ファイル設定

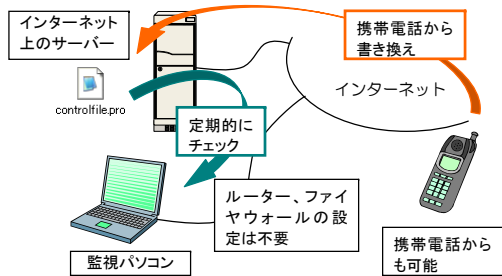
記録ファイル名・・・ファイル名には任意設定できるメインネームとサブネームがあります。メインネームはユーザー側で任意に設定可能です。サブネームにはIPアドレスをつけるなどして識別しやすくなります。また、遠隔操作でキャプチャファイルを使用する際にはファイル数が増えるとコントロール側での表示が遅くなりますので「時間をつける」は利用せず、上書きする事をお勧めします。コントロールの際にはメインネームの付いた最新ファイルを表示させます。

記録ファイルの保存先・・・記録ファイルを保存する場所はネットワークで接続された共有フォルダでもローカルに設定すれば可能です。FTPサーバーでも書き込みの権限があれば「その他」でFTPフォルダの設定を行うことにより、出力することが可能です。



## ■遠隔操作

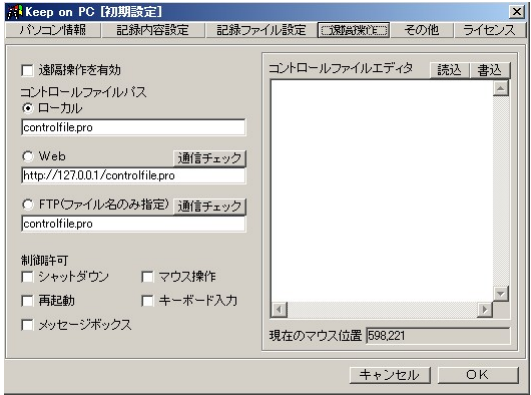
遠隔操作はkpが「controlfile.pro」を読み込み、記述されているスクリプトによってパソコンをkpから操作します。Controlfile.proにアクセスできれば遠隔操作が可能です。目的のパソコンのポートを新たに開けたりルータなどの設定をする必要はありません。遠隔操作は最短で0.1秒ごとに処理し、controlfile.proが更新されればほぼリアルタイムに操作されます。



遠隔操作を有効・・・このチェックをはずしておくとい切の遠隔操作ができなくなります。コントロールファイルパス・・・ネットワーク上の共有フォルダの場合はローカルに設定してください。¥¥で始まるファイルパスの指定はできません。ネットワークドライブとしてローカルに設定してください。

設定後、通信チェックやエディタの読み込みを確認してください。インターネット上のファイルを指定する場合はインターネットエクスプローラの設定によっては実際のファイルではなく、キャッシュが利用される場合があります。あわせてインターネットエクスプローラの設定も確認してください。

制御許可・・・遠隔操作で利用可能となる機能を制限することができます。制御する機能のみチェックを入れてください。コントロールファイルエディタ・・・コントロールファイルを直接読み込み、書き込みが可能です。マウスの移動を指定する際には現在のマウス位置を参考に記述してください。



## コントロールファイルリファレンス

全てのコマンドは半角小文字で記入します。先頭に「//」を入れるとその行は無効となり、コマンドを一時的に無効にしたり説明のコメントを入れることができます。

## fileno,[ファイルナンバー]

コントロールファイルの番号を指定します。必ず記入してください。この番号は新たにコントロールファイルを作成する毎に違う番号を記入し、kpの方で一度実行したコントロールファイルの番号がcontrolcommandfile.logで管理されています。同じ番号があるとすでに実行したと判断され、そのコントロールファイルは丸ごとパスされます。

## 記述例

```
//ファイルナンバー指定、ナンバーとして日時を使用すると重複しません
fileno, 20060701021116
```

## mouse,[動作],[オプション1],[オプション2]

マウスを操作します。[動作]で指定するコマンドによってオプション指定内容が変わります。

## [動作]コマンド

move,[X位置],[Y位置]

マウスカーソルを指定した位置に移動します。

## leftclick

左クリックします。オプション指定はありません。

## doubleclick

左ダブルクリックします。オプション指定はありません。

## lefthold

左クリックで押したままにします。オプション指定はありません。解除は左クリックをしてください。

## rightclick

右クリックします。オプション指定はありません。

## righthold

右クリックで押したままにします。オプション指定はありません。解除は右クリックをしてください。

## 記述例

```
//マウスを指定位置に移動
mouse.move,20,760
//左クリック
mouse.left.click
```

## msgbox,[内容],[タイトル]

メッセージボックスを表示します。メッセージボックスが表示されたらユーザーがクリックするまで次のコマンドを実行しません。

## 記述例

```
//メッセージを表示します
msgbox,業務時間中の私用は罰せられます。業務勧告
```

## key,[入力内容]

キーボード入力を行います。全角文字なども入力可能です。

## 記述例

```
//カーソルがある場所に文字を入力します。
key,おはよう
```

## shutdown

シャットダウンを行います。終了できなかったソフトウェアなどがあると処理できません。

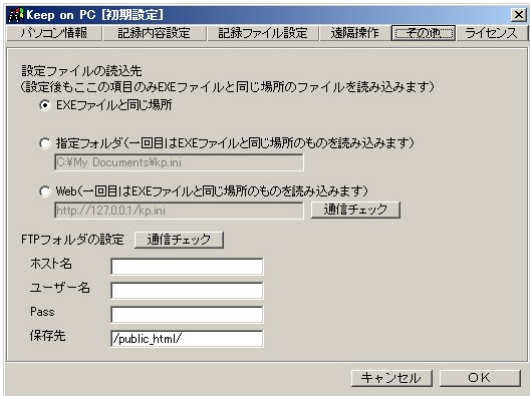
## restart

再起動を行います。終了できなかったソフトウェアなどがあると処理できません。

## ■その他

設定ファイルの読み込み先・・・設定ファイルである「kp.ini」をどこから読み込むかを指定できます。複数台のパソコンを監視する場合、設定ファイルを統一したい場合に便利です。

FTP フォルダの設定・・・記録ファイルなどで利用するFTP フォルダを指定します。



## ■ライセンス情報

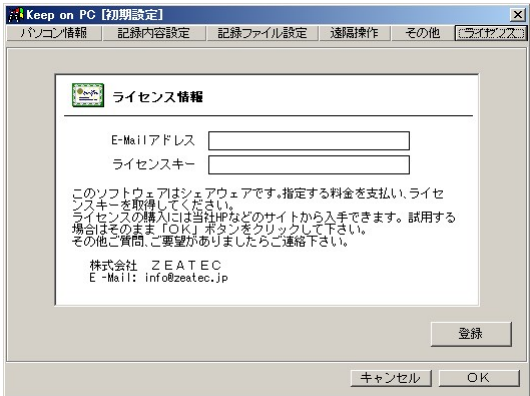
ライセンスキーの登録にはユーザーID が必要です。ライセンスキーとユーザーID は対でないと無効となります。必ずライセンスキーとユーザーID は忘れないようにお願いします。

### - 登録方法 -

ユーザーID をユーザーID の欄に半角英数で記入し、ライセンスキーを下の欄に半角英数で記入します。「登録」ボタンを押した後、「ライセンスキーが確認されました」と出たら完了です。

### - 試用するには -

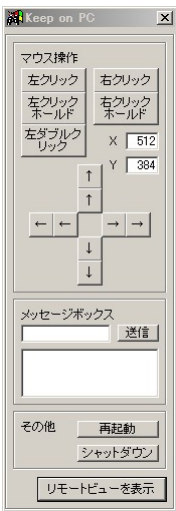
試して使ってみたいという時は、そのままご利用できます。ただし定期的に「ライセンス登録してください」とコメントが出てきます。それ以外は全ての機能がご利用可能です。



### - リモートモード -

各操作によって遠隔操作のコントロールファイルパスで指定された controlfile.pro が書き換えられます。Web を指定されている場合は書き換えができません。FTP またはローカルを指定してください。それぞれの機能は監視パソコンの制御許可にチェックが入っていることが前提となります。

マウス操作・・・それぞれのボタンを押すことによってボタンに明記された操作が行われます。矢印で指定されたボタンは内側が1移動となり、10 ポイントずつ移動します。外側の矢印は100ポイントずつ移動します。

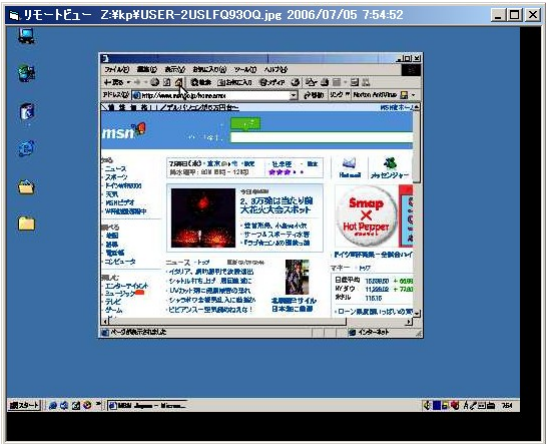


メッセージボックス・・・画面上にメッセージボックスをポップアップで表示させます。このメッセージボックスはユーザー側がOKボタンを押すまで次の操作は行われません。

上段のテキストボックスがタイトルとなり、下のテキストボックスが内容となり、送信ボタンを押すことによって監視パソコン上で表示されます。

その他・・・再起動およびシャットダウンを行います。

リモートビューを表示・・・記録ファイルの保存先で指定されているフォルダ内でもっとも最新と思われるファイルを表示します。なお、ローカルの方の対応となり、FTP の場合はブラウザをご利用ください。



リモートビューの画面

## ソフトウェア使用権許諾契約書

本 CD-ROM の包装を開封することにより、お客様がこの契約書に同意したこととさせていただきます。

### 第1条 使用許諾

株式会社 ZEATEC は、お客様に対して、プログラムディスク、テキスト、及びマニュアル等（以下「ソフトウェア」といいます）を本契約条項にしたがって使用することを許諾します。

### 第2条 使用制限

お客様は、「ソフトウェア」を同時に複数のコンピュータで使用することはできません。コンピュータ1台につきそれぞれ「ソフトウェア」を有していることが必要です。

### 第3条 複製の禁止

お客様は無断で「ソフトウェア」の全部または一部を複製することはできません。

### 第4条 改変等の禁止

お客様は無断で「ソフトウェア」の全部または一部を解析、改変することはできません。

### 第5条 第三者への譲渡

お客様が、本「ソフトウェア」を第三者に譲渡する場合には、お客様の責任において、本「ソフトウェア」使用権許諾契約を守らせていただくことを条件とします。

### 第6条 保障

ソフトウェアが記録されているプログラムディスクまたはマニュアルに物理的な欠陥があった場合、ご購入いただいてから30日間以内であれば無償でお取替えいたします。

### 第7条 免責

本「ソフトウェア」の使用により、万一お客様に間接的を含めて損害が発生した場合、弊社は一切の責任を負いません。またバグ等を含め一切の修正、訂正の義務を負いません。

### 第8条 使用権の消滅

お客様が本契約に違反した場合、または著作権法その他の法令に違反することによって、株式会社 ZEATEC の著作権及びその他の権利を侵害した場合は、本「ソフトウェア使用権許諾契約書」第1条で許諾された使用権は自動的に消滅します。

## その他

Excel、Access は Microsoft 製の登録商標です。

## 開発について

### - 開発元 -

Picconf : 株式会社 ZEATEC

HP <http://www.zeatec.jp/>

E-Mail [info@zeatec.jp](mailto:info@zeatec.jp)

距離計 株式会社 村上技研産業

HP <http://www.murakamigiken.co.jp/>

E-Mail [murakami@murakamigiken.co.jp](mailto:murakami@murakamigiken.co.jp)

### - Picconf 開発環境 -

WindowsXP Pro SP2 VisualBasic6.0SP6 Excel2000 Access2000 InternetExplorer6.0SP2

### - 開発履歴 -

Ver.1.0

2006/6/2 作成